

郡山地方広域消防組合公共施設等総合管理計画

個別施設計画

2023年4月

郡山地方広域消防組合

目次

第1章 概要.....	1
1 目的.....	1
2 対象施設.....	1
3 計画期間.....	1
4 計画の進行管理.....	1
第2章 個別施設の状況等.....	2
1 保有資産の状況.....	2
2 施設配置状況.....	3
3 老朽化の状況.....	3
4 消防需要の状況と救急件数の将来推計.....	4
5 トータルコスト.....	6
第3章 施設のマネジメント基本方針.....	7
1 対策の優先順位の考え方.....	7
2 施設の点検・診断や修繕、更新等の対策内容.....	8
3 個別施設の評価・検討の方向性.....	9
4 個別施設方針.....	11
5 対策費用.....	12

第1章 概要

1 目的

本計画は、「こおりやま消防安全・安心基本指針」（以下、基本指針という。）及び「郡山地方広域消防組合公共施設等総合管理計画」（以下、総合管理計画という。）に基づき、施設ごとに具体的方針を示すものです。

2 対象施設

本計画は、「総合管理計画」に定める全ての施設を対象とします。

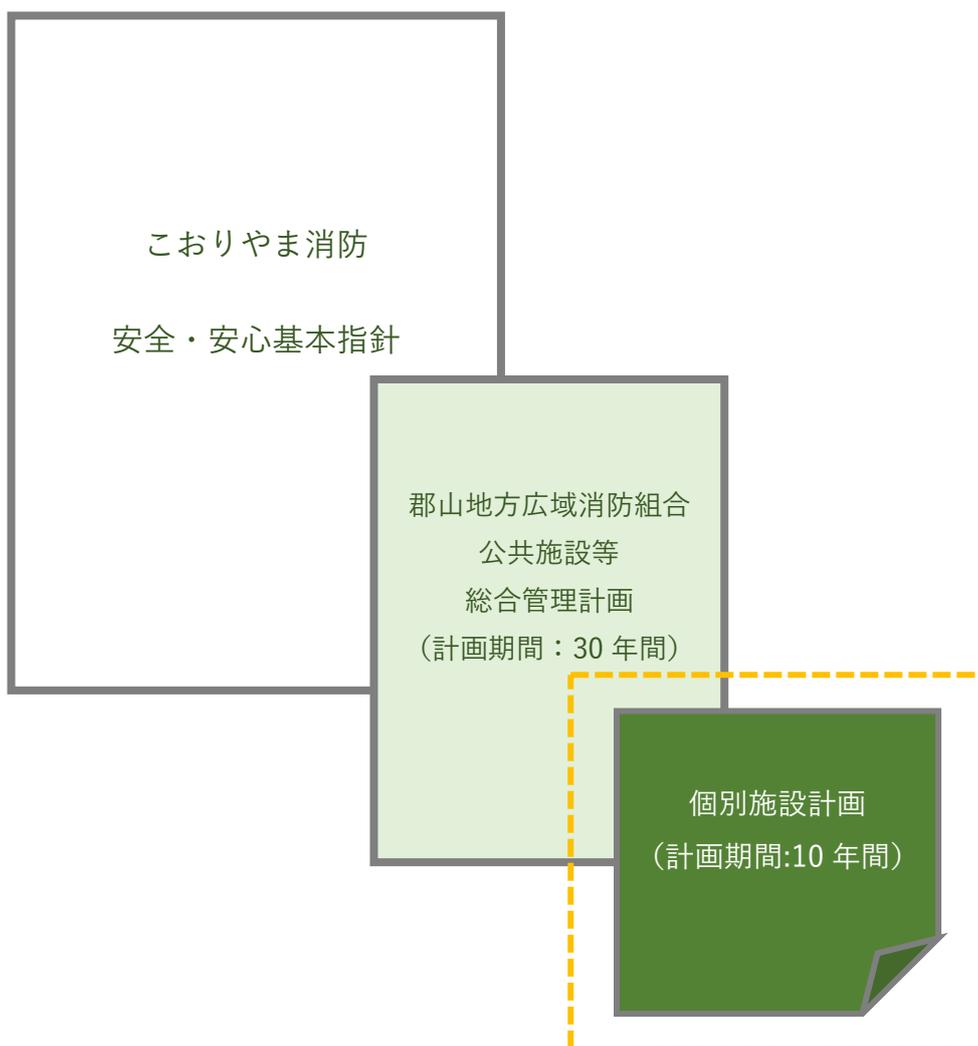
3 計画期間

2023年度から2032年度までの10年間

ただし、社会情勢等の変化により計画の変更が必要となる場合は、その都度見直しを行い、構成市町と協議の上、計画へ反映させるものとします。

4 計画の進行管理

本計画は、毎年度PDCAサイクルで進捗管理し、効果的かつ効率的な計画の推進を図ります。



第2章 個別施設の状況等

1 保有資産の状況

No.	施設名	所在地	管轄地区	所有	建築年度	経過年数	構造 (地上/地下)	延床面積 (㎡)	耐震	備考
1	消防本部・郡山消防署	郡山市	郡山市 旧市内 (郡山消防署)	組	1999	24	SRC (6/1)	6,947.31	-	うち主訓練塔 333.64㎡ 副訓練塔 274.93㎡ 駐輪場 12.96㎡ 避難所併設
2	大槻基幹分署	〃	大槻町 逢瀬町 三穂田町	組	1974	49	RC (2/0)	373.25	△	
3	喜久田基幹分署	〃	喜久田町 片平町	組	1977	46	RC (2/0)	409.25	△	うち車庫 36.00㎡
4	熱海分署	〃	熱海町	組	1975	47	RC (2/0)	373.25	△	
5	日和田分署	〃	日和田町 西田町	組	1988	35	RC (1/0)	395.52	-	
6	田村分署	〃	田村町	組	1985	38	S (1/0)	297.87	-	
7	安積分署	〃	安積町	組	1975	48	RC (2/0)	373.25	△	
8	湖南分署	〃	湖南町	組	1981	42	RC (1/0)	336.75	△	うちボイラー室 8.00㎡
9	中田分署	〃	中田町	組	1982	40	RC (1/0)	321.16	-	うちボイラー室 8.00㎡ ポンプ室 4.41㎡
10	富久山分署	〃	富久山町	組	2019	3	S (1/0)	641.62	-	うち訓練塔兼 ホース乾燥塔 20.00㎡
11	針生救急所	〃	大槻町 旧市内	組	1979	44	RC (2/0)	373.25	△	
12	田村消防署	田村市	船引町 常葉町	組	2017	5	RC・S (2/0)	1,703.43	-	うち訓練塔 145.95㎡ 車庫 76.72㎡ 駐輪場 5.04㎡ LPG庫 1.87㎡
13	滝根分署	〃	滝根町	組	1977	46	RC (2/0)	373.25	△	
14	都路分署	〃	都路町	組	1980	43	RC (1/0)	296.30	△	うち倉庫1 5.00㎡ 倉庫2 6.30㎡
15	大越分遣所	〃	大越町	組	2004	19	W (1/0)	158.99	-	
16	三春分署	三春町	三春町	組	1974	49	RC (2/0)	373.25	△	
17	小野分署	小野町	小野町	組	1974	49	RC (2/0)	383.92	△	うち無線通信局舎 10.67㎡
18	移分駐所	田村市	船引町 (移地区)	市	2014	9	W (1/0)	120.31	-	

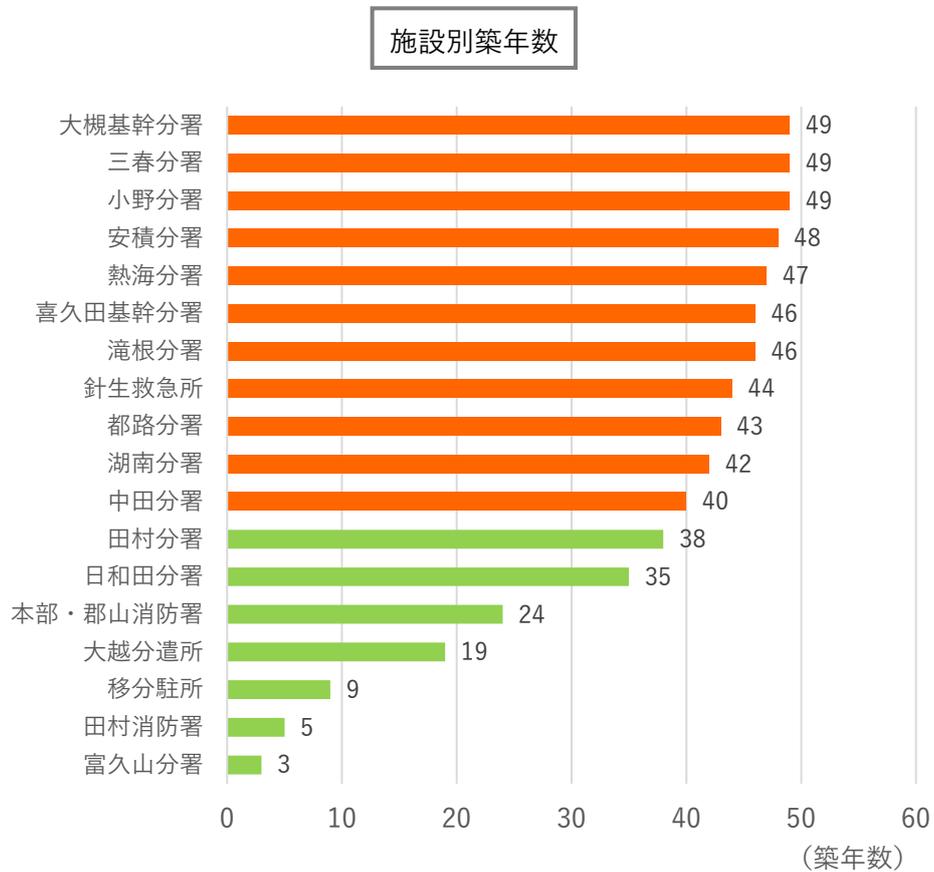
【凡例】

所有	組：消防組合所有の建物 市：構成市町所有の建物
構造	RC：鉄筋コンクリート造 SRC：鉄骨鉄筋コンクリート造 S：鉄骨造 W：木造
耐震	○：耐震化対応済 △：旧耐震基準でIS値0.6以上の建物 -：耐震化対象外（1981年6月1日以降の建物）

2 施設配置状況



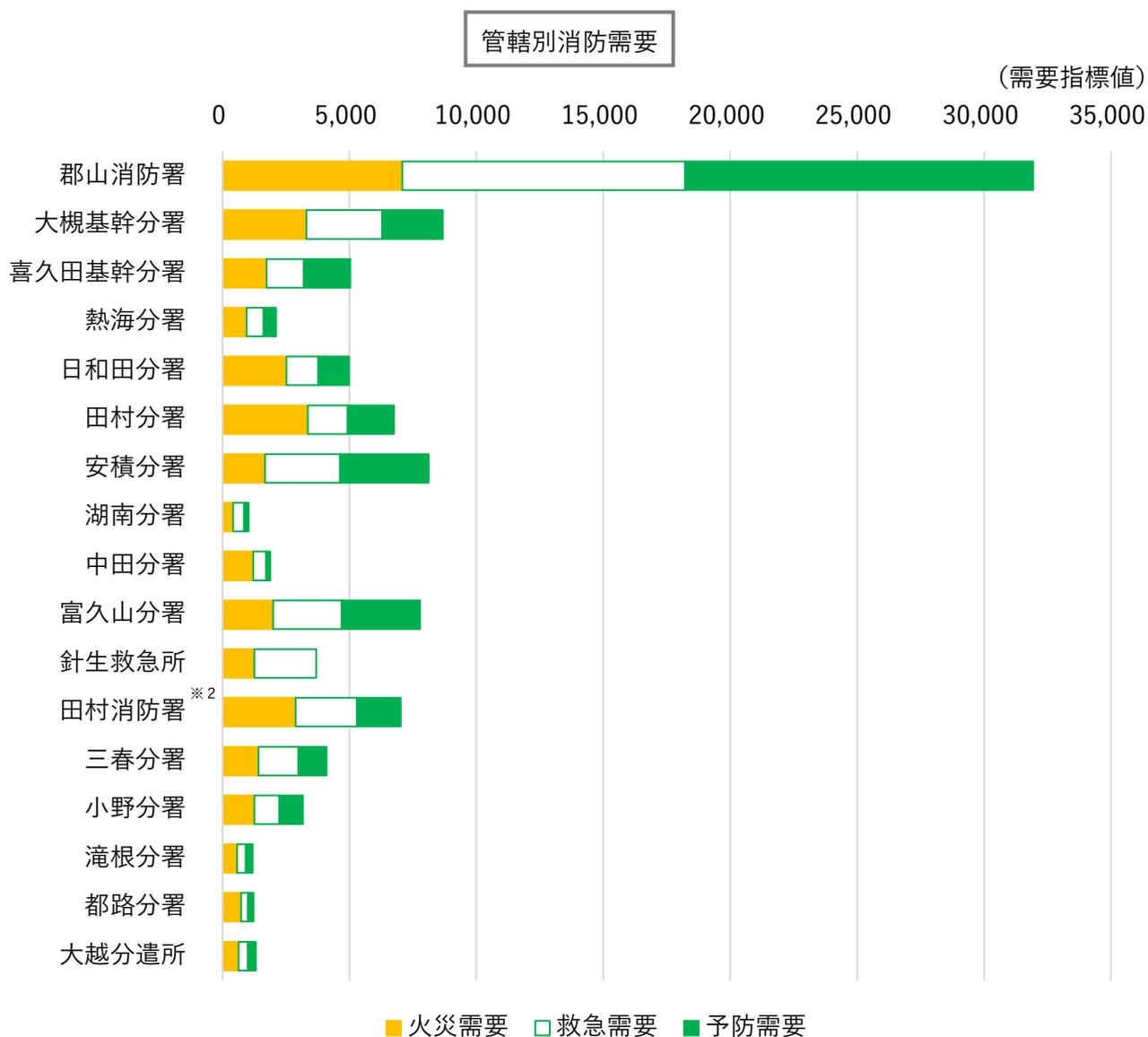
3 老朽化の状況



4 消防需要の状況と救急件数の将来推計

(1) 消防需要の状況

組合管内の消防需要^{※1}は、郡山市の中心市街地にある郡山消防署が特に高く、次いで大槻基幹分署、安積分署、富久山分署が高い状況にあります。



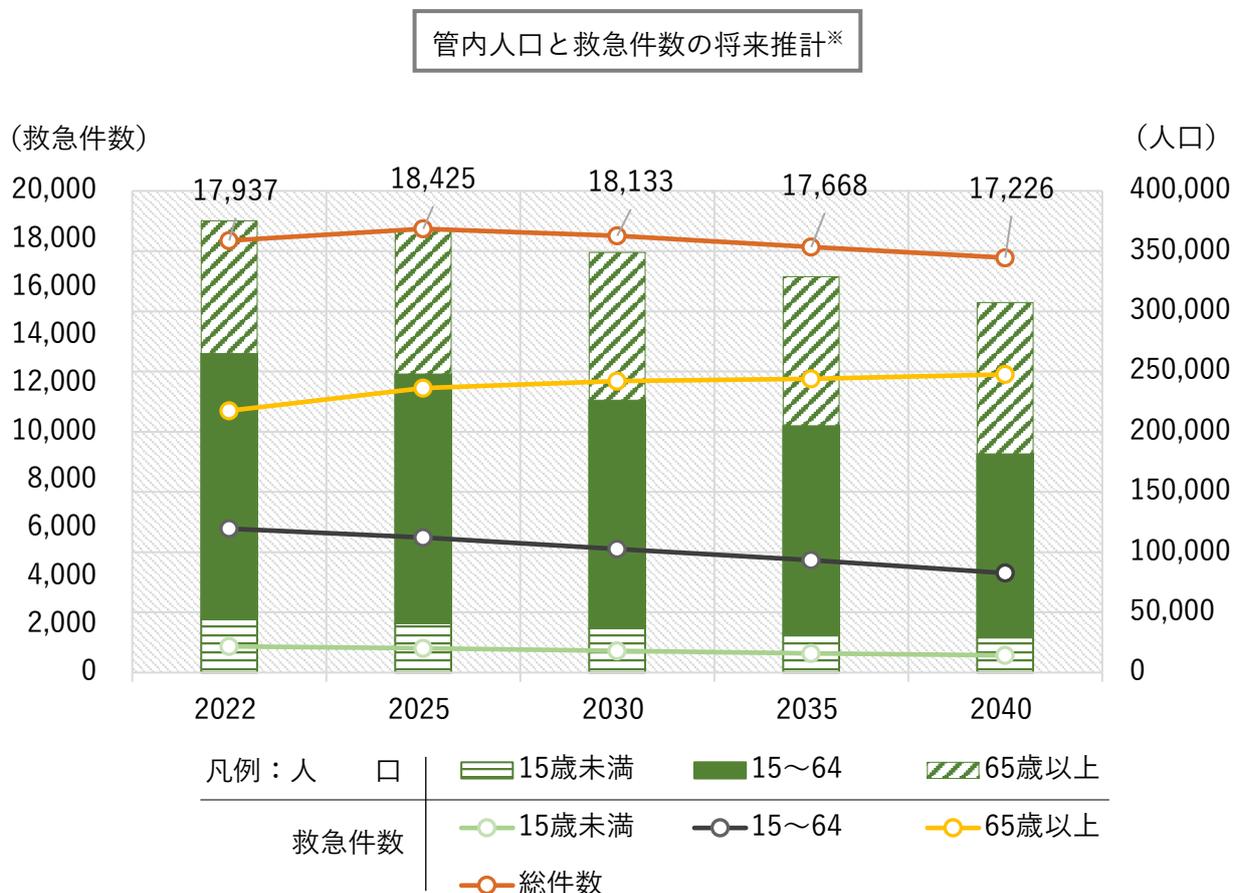
※1 各所属の管轄する地域の消防に対する需要を数値化したもの。

(過去5年間の火災・救急件数の合計数と管轄ごとの防火対象物の総数を1対1対1とし、指標化したもの。)

※2 移分駐所は、田村消防署に含む。

(2) 管内人口と救急件数の将来推計

救急件数の将来推計によると、管内人口は減少傾向にあるものの、高齢化の進展などの要因により、総救急件数は横ばいで、65歳以上の救急件数は増加傾向にあります。

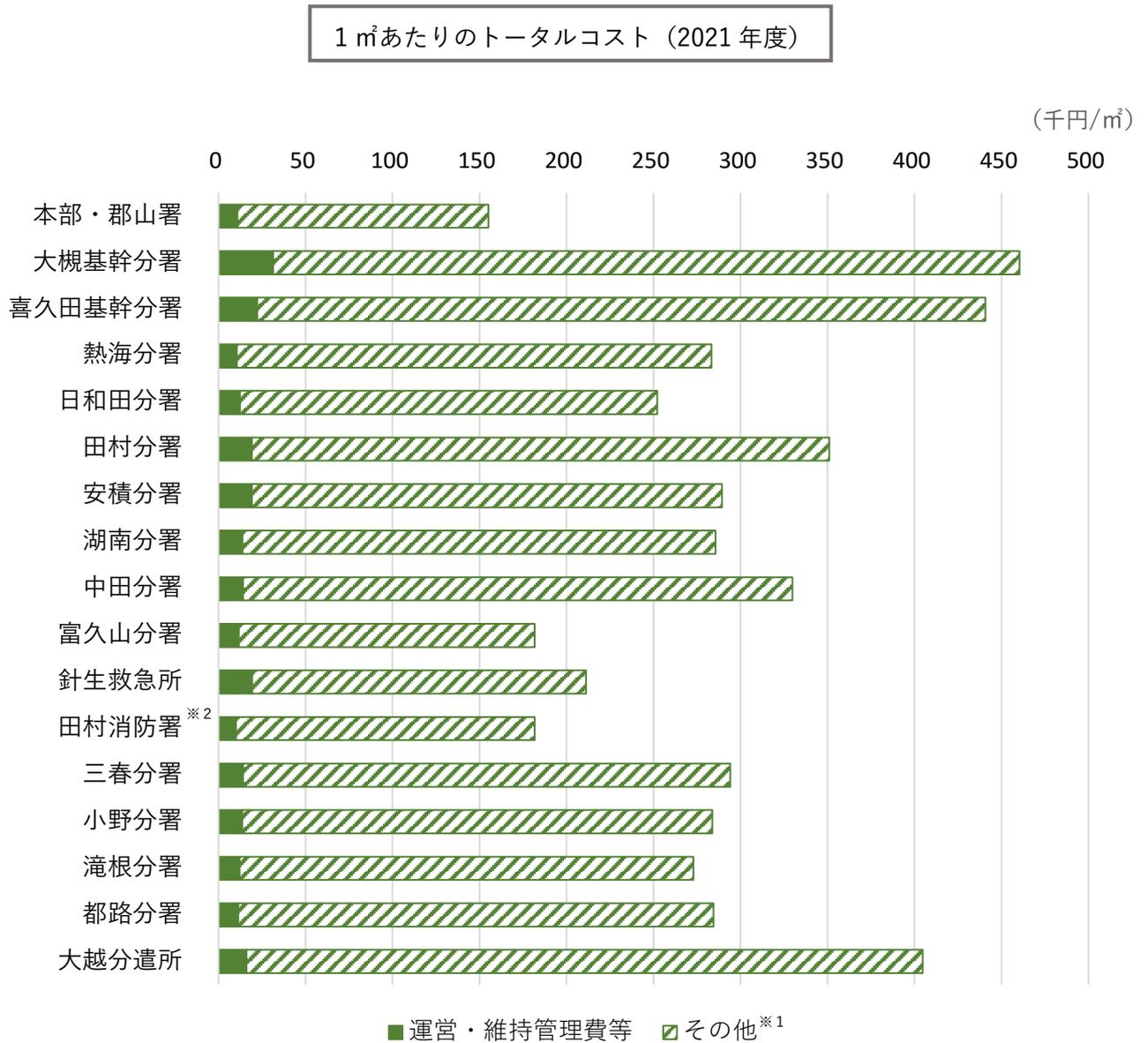


- ※
- ・2022年の救急件数については、搬送対象者（医療機関収容の有無は関係なし）を集計したもので、実際の救急件数とは差異があります。
 - ・2022年の人口については福島県の階級別人口（2022年4月1日）を集計（年齢不詳は含まない）したものの。
 - ・人口推計は国立社会保障・人口問題研究所、構成市町の人口ビジョン等から推計したものの。

5 トータルコスト

トータルコストは、建物等の管理・運営に要する経費で、人件費、光熱水費、修繕費（維持補修以外の建設工事費を含まない）、減価償却費、その他の経費を合計したものです。

庁舎1㎡あたりのトータルコストは、面積が小さい施設で、職員が多い所属が高い傾向にあります。



※1 その他の費用には、人件費及び減価償却費を含む。

※2 移分駐所は除く。

第3章 施設のマネジメント基本方針

1 対策の優先順位の考え方

施設の改修、更新等の優先順位については、総合管理計画「第3章4 公共施設等の管理に関する基本的な考え方」を踏まえ、各施設の役割や状態、地域特性、構成市町の状況等を踏まえ総合的に判断し、施設別の方針や検討開始年度を設定します。

(1) 施設の役割

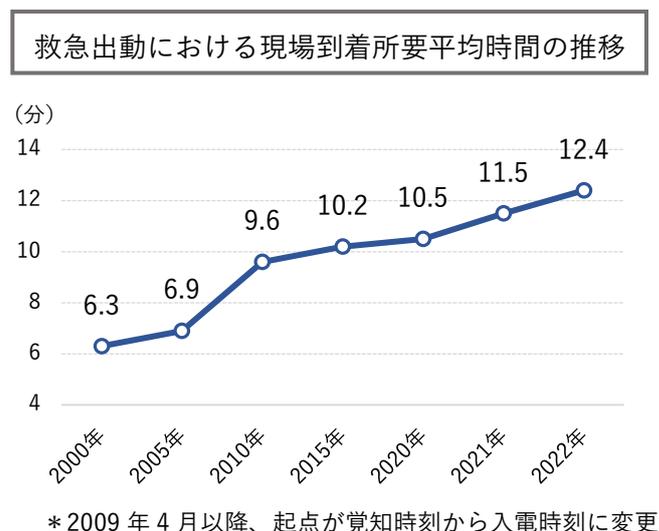
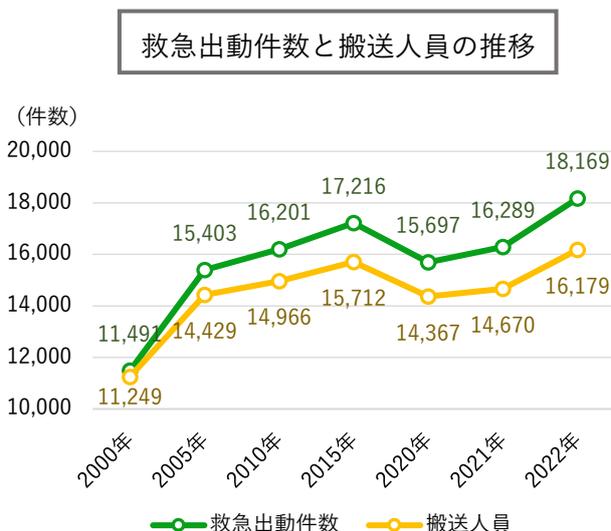
- ・本組合の消防施設は構成市町である郡山市、田村市、三春町、小野町それぞれの消防行政の拠点となる施設です。
- ・消防本部庁舎は2市2町の地域防災拠点として整備されており、防災教育施設や災害時の避難所として重要な役割を担っています。

(2) 施設の状態

- ・職員増や消防車両の大型化により施設・敷地ともに狭あい化しています。
- ・施設の維持管理は、基本的に「事後保全型」で対応していたため、老朽化している施設の建築付帯設備（給排水等）の老朽化が著しく進行しています。今後は、「予防保全型」での対応が必要です。
- ・施設の中には、浸水想定区域内に加えられたものもあることから、移転の検討が必要です。
- ・女性職員が勤務可能な環境の施設は18施設中5施設のみであり、環境整備が必要です。
- ・ユニバーサルデザイン化された施設は18施設中3施設のみであり、環境整備が必要です。
- ・省エネ化が進んでいる施設は18施設中2施設のみであり、環境整備が必要です。

(3) 地域特性等

- ・市街地における救急需要の増大等により、管轄や付近の救急自動車が存在しない状況が常態化しているため、市街地を管轄する消防力の強化が必要です。
- ・市街地と中山間地域では消防需要に格差がありますが、消防サービスの平準化や極端な到着時間の延伸を招かないために、施設維持の検討が必要です。



(4) 構成市町の状況等

- ・施設の更新については、当該施設の存する市町が全額費用負担することとされていることから、構成市町の財政状況や都市計画等を踏まえた適切な計画の検討が必要です。

2 施設の点検・診断や修繕、更新等の対策内容

総合管理計画第3章4(5)で定めた「目標耐用年数」まで長寿命化を図るため、施設の法定点検や修繕等については、以下のとおり計画的に実施します。

なお、点検等で修繕が必要と認められた場合は、危険度や施設の更新計画等を考慮し、早期実施に努めます。

公共施設の目標耐用年数

構造	目標耐用年数	大規模改修周期
R C (鉄筋コンクリート造)	65年	25～30年
S R C(鉄骨鉄筋コンクリート造)	65年	25～30年
S (鉄骨造)	53年	20～24年
W (木造)	39年	15～18年

法定点検の内容と周期

施設名	法定点検の内容	点検項目	周期
消防本部・ 郡山消防署	建築基準法第12条点検	・建築物	3年
		・建築設備 ・防火設備 ・昇降機等	1年
	労働安全衛生法 (特定建築物環境衛生管理)	・空調設備 ・給水設備	2か月～6か月

* 消火設備、電気設備等の点検は除く

建築設備の修繕等の内容と周期

No.	修繕等の内容	周期	備考
1	屋上防水	14～16年	
2	空調設備	16～18年	
3	オーバースライダー	—	構造別大規模改修周期に実施
4	給排水設備	—	構造別大規模改修周期に実施

3 個別施設の評価・検討の方向性

施設の最適化の検討にあたり、施設の建物、地域の情勢等の評価、現状分析を踏まえ、個々の施設の長期的な検討を行います。

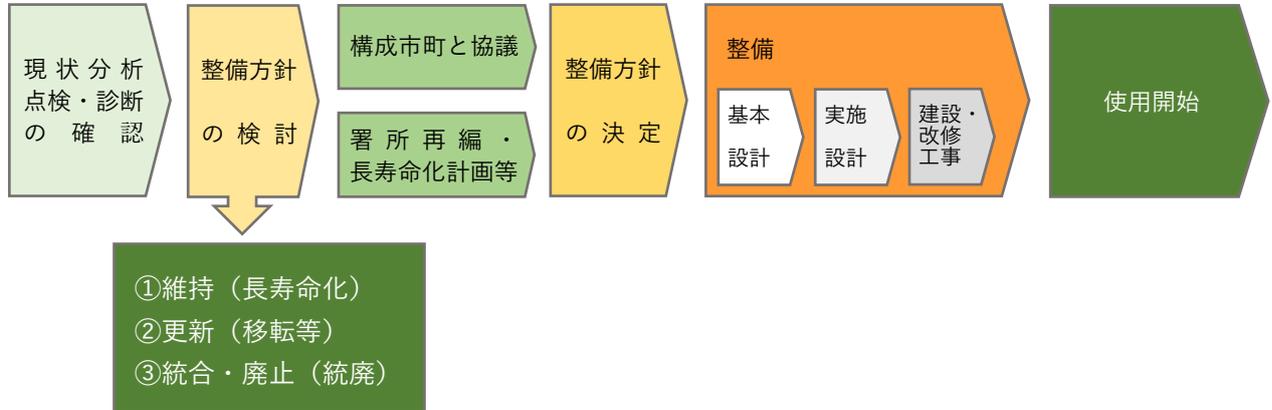
具体的な実施方法については、検討開始年度が到来した時点で、あらためて詳細な現況分析を行うとともに、構成市町と協議していきます。

評価・検討の実施方法			
【現状分析】			
「建物の老朽化、施設や敷地の狭あい化」の視点から評価し、現状分析を行います。			
建物の評価	評価内容（評価の目安）	評価	
主体建物の老朽化状況 （築年数・改修経過等）	RC・SRC造築40年未満 （R造30年、W造20年）	比較的良い状態	I
	RC・SRC造築40年以上 （R造30年、W造20年）		
耐震性能	新耐震基準※ ¹ 以降	老朽化、狭あい化 が進行している状態	II
	旧耐震基準（Is値0.6以上、木造建築）		
施設及び敷地の面積	適切※ ²		
	狭あい化		
※1 新耐震基準：1981年6月1日施行の耐震基準 ※2 適切な施設の面積等：消防署：延べ床面積 1,500㎡以上・敷地面積 7,000㎡以上 分署：延べ床面積 600㎡以上・敷地面積 2,000㎡以上			
「人口推移や地域の消防需要」の視点から評価し、現状分析を行います。			
地域情勢等の評価	評価内容（評価の目安）	評価	
人口推移	将来的に増加傾向・横ばい	将来的に消防需要が 増加・横ばいの予測	I
	将来的に減少傾向		
消防需要	管轄の消防需要が高い	将来的に消防需要が 減少の予測	II
	管轄の消防需要が低い		
【検討開始時期の設定】			
当該施設又は構成市町の施設の改修・更新計画などに合わせて設定します。			

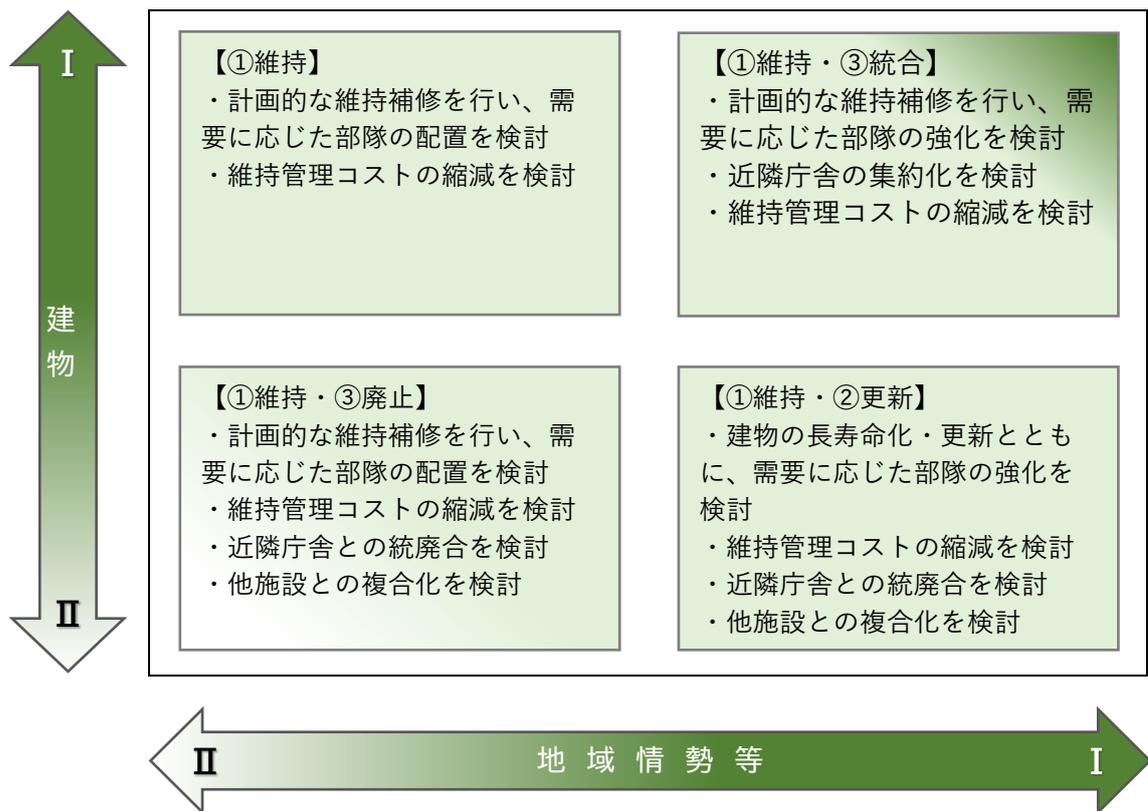
検討開始時期到来時の検討

最新の現状分析や必要な点検・診断を基に、具体的な方針の検討をします。

【具体的な検討・整備の流れ】



【現状分析・方針検討のイメージ】



4 個別施設方針

No.	施設名	構成市町	管轄地区	現状分析		評価	検討の方向性	検討開始年度
				建物	情勢等			
1	消防本部・郡山消防署	郡山市	郡山市 旧市内 (郡山消防署)	Ⅱ	Ⅰ	維持	市街地で需要の高い地域であり、現状を継続	2029
2	大槻基幹分署	〃	大槻町の一部 逢瀬町 三穂田町	Ⅱ	Ⅰ	更新 (統合)	老朽化、狭あい化著しく、需要が高い地域であり、優先して移転、統合を検討	検討中
3	喜久田基幹分署	〃	喜久田町 片平町	Ⅱ	Ⅰ	更新	老朽化、狭あい化著しく、当面は現状を継続するが、市街地の状況により移転を検討	2028
4	熱海分署	〃	熱海町	Ⅱ	Ⅱ	維持	庁舎維持のため長寿命化を検討	2023
5	日和田分署	〃	日和田町 西田町	Ⅱ	Ⅱ	維持	庁舎維持のため長寿命化を検討	2035
6	田村分署	〃	田村町	Ⅱ	Ⅱ	更新 (移転)	浸水想定区域内の施設であることから、移転を検討	検討中
7	安積分署	〃	安積町	Ⅱ	Ⅰ	更新	老朽化、狭あい化著しく、需要が高い地域であり、優先して建替を検討	2025
8	湖南分署	〃	湖南町	Ⅱ	Ⅱ	維持	庁舎維持のため長寿命化を検討	2027
9	中田分署	〃	中田町	Ⅱ	Ⅱ	維持	庁舎維持のため長寿命化を検討	2028
10	富久山分署	〃	富久山町	Ⅰ	Ⅰ	維持	庁舎維持のため長寿命化を検討	2039
11	針生救急所	〃	大槻町の一部 旧市内の一部	Ⅱ	Ⅰ	統廃	近隣施設（大槻）の更新時期に合わせ、統廃合を検討	検討中
12	田村消防署	田村市	船引町 常葉町	Ⅰ	Ⅱ	維持	庁舎維持のため長寿命化を検討	2042
13	滝根分署	〃	滝根町	Ⅱ	Ⅱ	維持	庁舎維持のため長寿命化を検討	2024
14	都路分署	〃	都路町	Ⅱ	Ⅱ	維持	庁舎維持のため長寿命化を検討	2027
15	大越分遣所	〃	大越町	Ⅱ	Ⅱ	維持	庁舎維持のため長寿命化を検討	2023
16	三春分署	三春町	三春町	Ⅱ	Ⅱ	更新	老朽化・狭あい化著しく、移転を検討	2023
17	小野分署	小野町	小野町	Ⅱ	Ⅱ	更新	町庁舎更新時期に合わせ、複合化、移転を検討	2023

※移分駐所は除く

【現状分析の凡例】

建物	Ⅰ：比較的良い状態	情勢等	Ⅰ：将来的に消防需要が増加・横ばいの予測
	Ⅱ：老朽化・狭あい化が進行している状態		Ⅱ：将来的に消防需要が減少の予測

5 対策費用

No.	施設名	対策内容	年度										合計
			2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)	2031 (R13)	2032 (R14)	
1	消防本部・郡山消防署	維持	29	275	240	169	150	67	20	175		30	1,155
2	大槻基幹分署	更新			30	725	725						1,480
3	喜久田基幹分署	更新											0
4	熱海分署	維持			15	8					2		25
5	日和田分署	維持	2		10	12							24
6	田村分署	更新			12								12
7	安積分署	更新								30	365	365	760
8	湖南分署	維持	10							15			25
9	中田分署	維持	10	12				2			15		39
10	富久山分署	維持							1				1
11	針生救急所	統廃											0
12	田村消防署	維持										20	20
13	滝根分署	維持				15							15
14	都路分署	維持		10					15		2		27
15	大越分遣所	維持	3		10								13
16	三春分署	更新			30	365	365						760
17	小野分署	更新	10	15	0	12	0	0	0	30	365	365	797
	合計		64	312	347	1,306	1,240	69	36	250	749	780	5,153

※移分駐所は除く

個別施設計画

—郡山地方広域消防組合公共施設等総合管理計画—

[2023年4月]

□編集 消防本部総務課

